

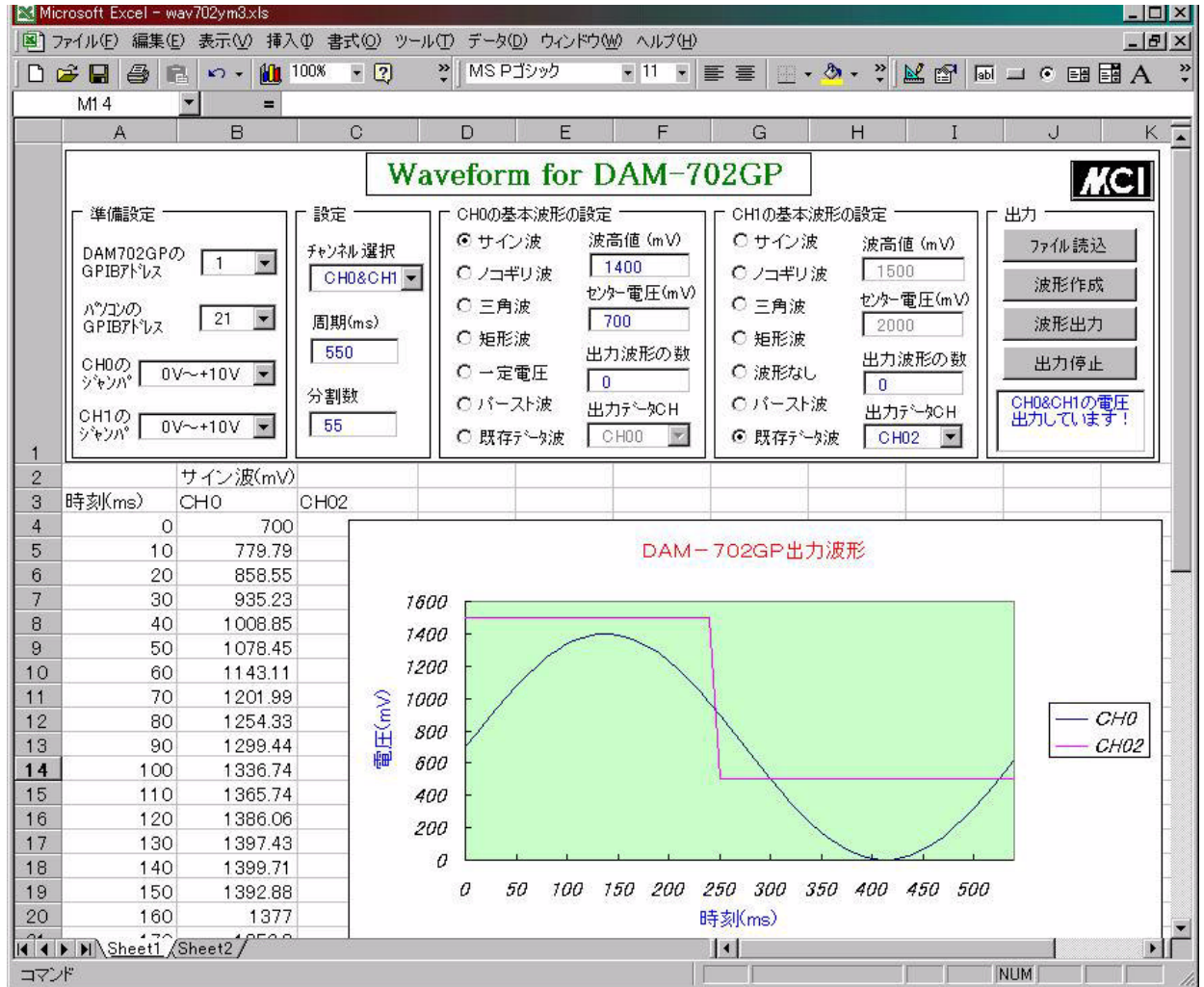
EXCEL出力波形発生ソフト WAV-702xx V2.1

1: 概要

WAV-702xxは表計算ソフトEXCELの中からGPIB端末DAコンバータを制御してグラフ作成した電圧波形データをスプレッドシートから出力することのできる任意波形発生ソフトです。

また、Ver.2.1からは別売のEXLOG6xx(データ収集ソフト)により収集保存した電圧データファイル(CSV形式)を読み込んでDA出力できるようになりました。実波形の再現、繰り返しなど、応用範囲が広がり使いやすくなりました。

電圧波形データの画面例



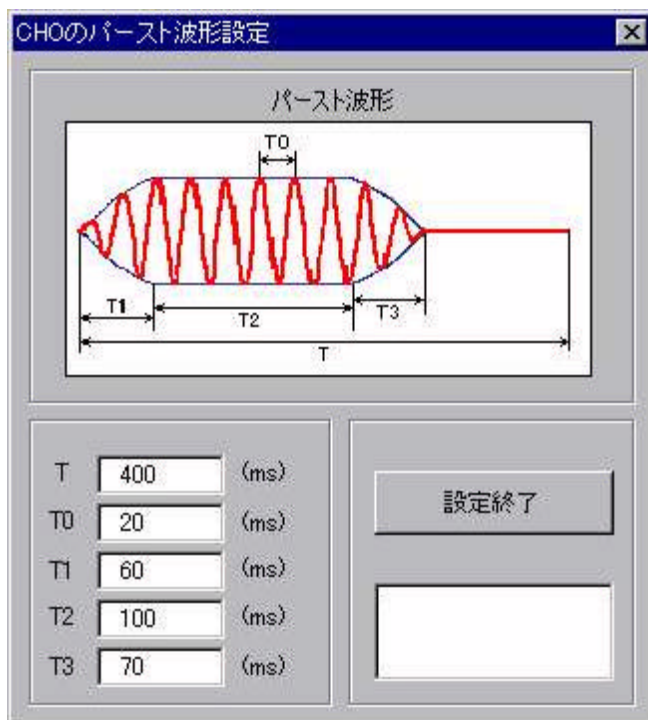
2 : 仕様

動作OS環境 : Microsoft Windows95/98、Microsoft Excel2000
適用パソコン : IBM互換機、NEC製PC-98NXシリーズ
対応GPIBインターフェース : ヤマトエレクトロニクス社製 GP-IB (PCI33)
ナショナルインスツルメンツ社製 PCI-GPIB
(「NI-488.2ソフトウェア」を使うこと)
ラトックシステム社製 REX5052 (PCカード)
対応GPIB端末DAコンバータ : エムシーアイエンジニアリング社製
DAM-702GPBまたはDAM-702GPC
性能 : 基本波形 : 6種 (サイン波、のこぎり波、三角波、矩形波、バースト波、直流)
既存データファイル読み込み
基本クロック : 1 msec
最高周波数 : 基本波形の分割数 × 基本クロック
最大500Hz以上の時間を数値で指定可能
分割数 : 最大65533 (エクセルシートの行数制限による)
繰り返し数 : 0, 1 ~ 1000000回 (0は無限回)
出力数 : 1 ~ 2チャンネルをプルダウンメニューから選択可能

3 : バースト波の設定画面

「CHnの基本波形の設定」においてバースト波を選択すると右に示す画面が現れます。

- T : バーストの周期 (単位ミリ秒)
「波形設定」中の「設定」中の「周期」の値より大きな時間は入力できません。
- T0 : バースト波の周期 (単位ミリ秒)
- T1 : バースト波の立ち上がり時間 (単位ミリ秒)
- T2 : バースト波の安定時間 (単位ミリ秒)
- T3 : バースト波の立ち下がり時間 (単位ミリ秒)



4 : 応用

モーター制御 : 電圧制御モーターの制御部に任意の電圧波形を与えることによるモーター動作確認
電子ボリューム制御 : 任意の電圧波形を与えることによる電子ボリュームの動作確認